

「成長戦略進化のための今後の検討方針」を踏まえた文部科学省における検討状況 ～ 研究成果の実用化に向けて ～

【課題認識】

◎ イノベーションの“良循環”を生み出すためには、人材育成から実用化・世界への発信まで見据えた“**全体最適な**”仕組みの構築が必要

◎ 大学や研究開発法人の改革を加速させながら、**産学官のより効果的な『共創』**を通じて、一緒に社会を変革していくことが重要

オリンピック・パラリンピック開催に向けて取組を加速

新たな研究開発法人制度の創設 ～研究開発法人が研究現場と産業界をつなぐ架け橋に～

- ✓ 大学及び産業界の双方から人材を結集(能力に見合った処遇)
(ジョイント・ラボ ⇒ アンダーワンルーフでの研究(実用化・産業化への知識集約))
- ✓ 長期的な研究開発へのコミット(運営費交付金、10年有期雇用の実現)
- ✓ 産・学双方に理解があり、双方で活躍できる人材を育成
(キャリアパスのリニアモデルからの脱却へ)
- ✓ 大学のアイデア、産業界のニーズのマッチング (成果の迅速な実用化へ)
- ✓ 民間や大学のみでは対応できない研究開発や研究インフラの共同利用の実施
⇒ イノベーション創出の基盤強化、日本のコア・コンピテンシーの確立・充実



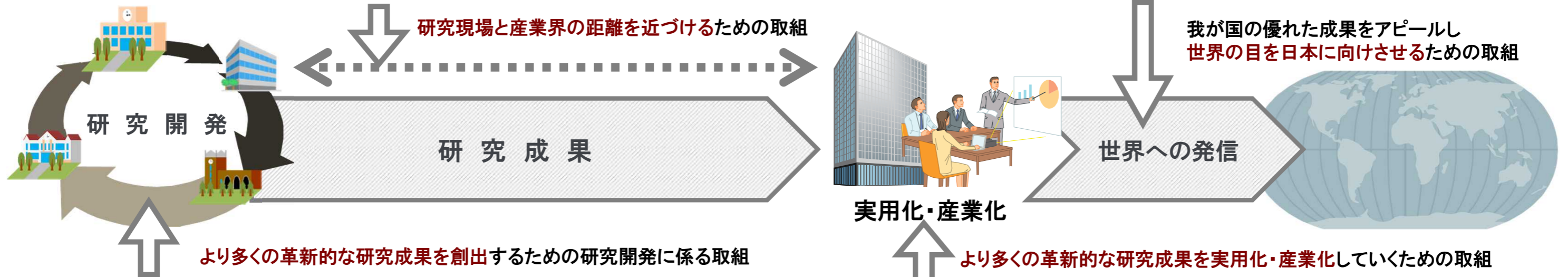
Research in Japan / Innovative Japan

【Research in Japan】

- ✓ 日本の魅力(高い研究レベル、研究環境、文化等)をアピールし、外国人研究者の呼び込みを推進

【Innovative Japan】

- ✓ 世界のヒト・モノ・カネを惹き付けるため、Japan-Brandである先端科学技術を世界に発信



科学技術イノベーション人材の充実

【若手研究者】

- ✓ 産学官の研究者等の流動性を高めつつ、キャリアパスを提示(コンソーシアム)
- ✓ 専門分野を持ちつつ、起業家マインド、事業化志向を持つ若手人材を養成

【女性研究者】

- ✓ 研究者のワーク・ライフ・バランスに配慮した研究費等システム改革
- ✓ 研究活動を主導する女性リーダーの活躍促進

【外国人研究者】

- ✓ 我が国と海外トップクラスの研究グループとの頭脳循環を促進(国際的な頭脳循環のハブ化)。魅力的な設備・環境を備えた拠点形成等による優秀な外国人研究者の受入れ促進

基礎研究の充実 ～競争的資金改革～

【科学研究費助成事業】

- ✓ シーズマネーとしての科研費の抜本的改革に着手(審査分野の大括り化、審査体制・方法の改善)
- ✓ 「調整枠」の創設等による女性研究者支援の拡大や国際共同研究の推進など多様な質の高い研究の推進・加速

【戦略的創造研究推進事業】

- ✓ エビデンスベースによる支援対象の策定手法を体系化し革新的な技術シーズの創出を強化
- ✓ 若手研究者の活躍支援を強化

【競争的資金の接続改善】

- ✓ (科研費側)成果やアイデアの活用・展開を促進
- ✓ (戦略事業側)科研費の成果を最大限把握・活用するためのデータベース(FMDB)を構築

挑戦する「人材」 & 「成果」の強化 (一体的支援の実現)

【挑戦する「人材」を増やす】

- ✓ イノベーション・起業挑戦人材を養成するとともに、人材ネットワークを構築
- ✓ イノベーション・ジャパンの拡大(国内最大規模の産学金マッチングの場へ)

【挑戦のベースとなる「研究成果」の強化】

- ✓ 市場の視点から、大学・研究開発法人等の知財、研究成果等を戦略的に集約し、産業界・社会が活用出来る段階まで強化
- ✓ 経営者を含めた、強いチーム・ビルディングに必要な仕組み・制度等の構築

一体的支援の実現

新市場を開拓する「強い」大学発ベンチャーの創出

アベノミクス効果により増える投資マネー(未来への先行投資)の受け手となり得る新しいビジネスを生み出す